

事業報告

2013年度

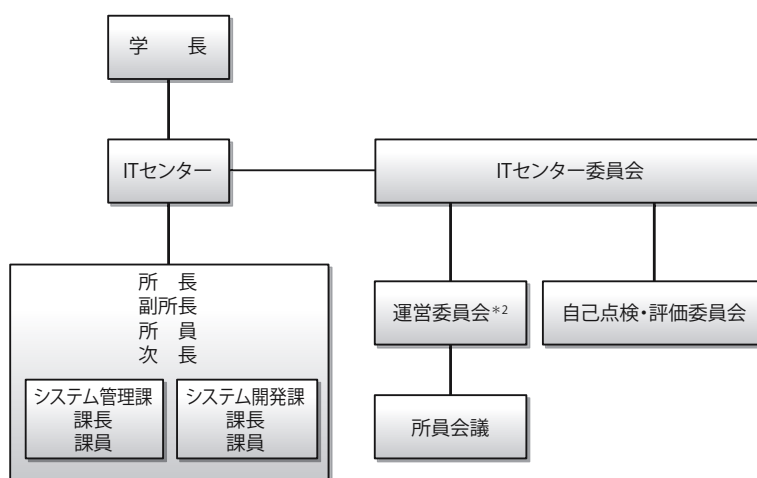
センター組織

昭和57（1982）年4月1日、千里山キャンパスに「関西大学情報処理センター」が設置され、平成16（2004）年4月1日、同キャンパス内にある円神館への移転に伴い「関西大学インフォメーションテクノロジーセンター（通称 IT センター）」へ名称変更された。コンピュータ・ネットワークシステムの管理運営にあたっては、学長傘下の全学的な組織として、「IT センター委員会」がその役割を担っている。

同委員会は、センター所長、副所長*¹、及び法、文、経済、商、社会、政策創造、外国語、人間健康、総合情報、社会安全、システム理工、環境都市、化学生命の各学部から1名、学長補佐から1名、総務局長、学長室長、学術情報事務局長、学術情報事務局次長（IT 担当）の合計19名で構成されている。

同委員会の目的は、コンピューターシステムと学内ネットワークを整備し、教育・研究の充実ならびに事務効率を向上させることにある。また、同委員会では、IT センター業務の自己点検、評価を行うため、「IT センター自己点検・評価委員会」を設置している。加えて、所員5名が各システムの有効活用のため、技術支援を行っている。

なお、事務組織として、ネットワークの運用、教育・研究活動の支援、マルチメディアコンテンツ管理などを行うシステム管理課、システムの設計、開発及び運用、保守を行うシステム開発課とがある。



* 1 副所長は各学部からの委員のうち、1名が兼ねる。

* 2 2013年度は開催せず。

ITセンター委員会委員

2013年4月1日

所 属	資 格	氏 名
所 長	(文)教授	柴 田 一
副 所 長	(システム)准教授	榎 原 博 之
法 学 部	准 教 授	水 野 吉 章
文 学 部	教 授	比留間 太 白
経 済 学 部	准 教 授	稲 葉 大
商 学 部	准 教 授	長谷川 伸
社 会 学 部	教 授	久 本 博 行
政策創造学部	教 授	岡 本 哲 和
外 国 語 学 部	准 教 授	水 本 篤
人間健康学部	助 教	窄 山 太
総合情報学部	教 授	林 勲
社会安全学部	助 教	河 野 和 宏
環境都市工学部	准 教 授	村 山 憲 弘
化学生命工学部	専任講師	安 原 裕 紀
学 長 補 佐	(化学生命)教授	青 田 浩 幸
総 務 局	局 長	土 橋 良 一
学 長 室	室 長	川 畑 一 成
学術情報事務局	局 長	篠 塚 義 弘
学術情報事務局	次 長	中 芝 義 之

委員の交代

2013年10月1日

所 属	資 格	氏 名
経 済 学 部	教 授	菅 田 一
商 学 部	准 教 授	馬 場 英 朗
政策創造学部	准 教 授	山 中 友 理
総合情報学部	准 教 授	小 林 孝 史
環境都市工学部	助 教	檀 寛 成

ITセンター自己点検・評価委員会

2013年4月1日

所 属	資 格	氏 名
副 所 長	(システム)准教授	榎 原 博 之
社 会 学 部	教 授	久 本 博 行
政策創造学部	教 授	岡 本 哲 和
総合情報学部	教 授	林 勲
環境都市工学部	准 教 授	村 山 憲 弘
文 学 部	教 授	本 村 康 哲
商 学 部	准 教 授	馬 場 一
学術情報事務局	局 長	篠 塚 義 弘
学術情報事務局	次 長	中 芝 義 之
システム管理課	課 長	山 崎 秀 樹
システム開発課	課 長	鎌 田 正 彦

委員の交代

2013年10月1日

所 属	資 格	氏 名
副 所 長	(システム)准教授	榎 原 博 之
法 学 部	准 教 授	寺 川 永
経 済 学 部	教 授	菅 田 一
外 国 語 学 部	准 教 授	水 本 篤
化学生命工学部	専任講師	安 原 裕 紀
人間健康学部	教 授	三 浦 敏 弘
社会安全学部	助 教	河 野 和 宏
学術情報事務局	局 長	篠 塚 義 弘
学術情報事務局	次 長	中 芝 義 之
システム管理課	課 長	山 崎 秀 樹
システム開発課	課 長	鎌 田 正 彦

ITセンター所員

2013年4月1日

所 属	資 格	氏 名
文 学 部	教 授	本 村 康 哲
商 学 部	准 教 授	馬 場 一
社 会 学 部	教 授	間 淵 領 吾
外 国 語 学 部	准 教 授	水 本 篤
システム理工学部	准 教 授	徳 丸 正 孝

システム管理課

2013年4月1日

役 職	氏 名
課 長	山 崎 秀 樹
6 等 級 専 任 職 員	夏 田 望
補 佐	柿 本 昌 範
専 任 職 員	稲 葉 修 造
専 任 職 員	徳 永 賢 太
専 任 職 員	西 脇 和 彦
専 任 職 員	川 邊 剛
専 任 職 員	笹 川 剛
専 任 職 員	大 内 愛
専 任 職 員	榊 原 和 弘
専 任 職 員	村 田 直 也
特 任 嘱 託	得 永 義 則
特 任 嘱 託	山 本 良 成
定 時 職 員	筒 井 忍
定 時 職 員	藤 井 香 苗

委員の交代

2013年10月1日

所 属	資 格	氏 名
経 済 学 部	准 教 授	片 山 直 也
社 会 学 部	准 教 授	保 田 時 男
人間健康学部	教 授	三 浦 敏 弘
総合情報学部	教 授	林 勲
社会安全学部	助 教	河 野 和 宏

学術情報事務局 (IT 担当)

2013年4月1日

役 職	氏 名
次 長	中 芝 義 之

システム開発課

2013年4月1日

役 職	氏 名
課 長	鎌 田 正 彦
6 等 級 専 任 職 員	大 西 貞 行
専 任 職 員	砂 田 吉 史
専 任 職 員	内 藤 郁 郎
専 任 職 員	長 畑 俊 郎
専 任 職 員	小 野 田 高 志
専 任 職 員	淵 上 裕 一
専 任 職 員	温 井 章 文
専 任 職 員	宮 口 岳 士
専 任 職 員	森 田 弘 一
専 任 職 員	久 住 友 人
定 時 職 員	江 口 真 知 子
特 別 雇 用 員	多 賀 谷 勝 敏

委員会活動

ITセンターは、各委員会活動を経て運営されている。2013（平成25）年度に開催された会議と議事は以下のとおりである。

ITセンター委員会

2013年4月3日（第1回）

議 題

- 1 ITセンター委員会委員の構成について
- 2 ITセンター運営委員会の構成について
- 3 ITセンター自己点検・評価委員会の構成について
- 4 平成25年度ITセンター新規事業
- 5 ITに係わる施策、イベント等の業務報告について
- 6 その他

2013年5月1日（第2回）

議 題

- 1 平成24年度教育研究用システム利用統計について
- 2 学生アンケート実施について
- 3 KU Wi-Fi用MACアドレス登録システムについて
- 4 その他

2013年5月25日（第3回）（持ち回り）

議 題

- 1 私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等施設整備費（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費））及び私立大学等教育研究設備整備費等補助金（私立大学等研究設備等整備費）に係る交付内定前の事前着手承認申請書の提出について

2013年6月5日（第4回）

議 題

- 1 学生アンケートについて
- 2 メールインシデントについて
- 3 情報セキュリティインシデントについて
- 4 サテライトステーションパソコンシステム更新について
- 5 次年度予算項目について
- 6 ITに係る施策・イベント等の業務報告
- 7 その他

2013年7月3日（第5回）

議 題

- 1 ITセンター規程、ITセンター自己点検・評価委員会規程の改正について
- 2 次年度予算項目について
- 3 一時公開無線ネットワーク利用サービスについて
- 4 事務職員用メールシステムの改善について
- 5 その他

2013年8月7日（第6回）

議 題

- 1 次年度新規予算項目について
- 2 情報システムの利活用に関する提案について
- 3 ソーシャルメディア利用に関するガイドラインの作成について
- 4 その他

2013年9月5日 (第7回)

議 題

- 1 次年度新規予算項目について
- 2 無線 AP の設置について
- 3 その他

2013年10月2日 (第8回)

議 題

- 1 ITセンター委員会委員の構成について
- 2 ITセンター副所長の推薦について
- 3 ITセンター所員の構成について
- 4 ITセンター運営委員会の構成について
- 5 ITセンター自己点検・評価委員会の構成について
- 6 その他

2013年12月4日 (第9回)

議 題

- 1 セキュリティポリシー実施規程について
- 2 ITセンター意思決定プロセスについて
- 3 全学メールのSSL対応について
- 4 ITセンターホームページの改修について

2014年2月21日 (第10回) (持ち回り了承)

議 題

- 1 セキュリティポリシー実施規程について
- 2 関西大学 SNS のサービス停止について

2014年2月24日 (第11回) (持ち回り)

- 1 私立学校施設整備費補助金 (私立学校教育研究装置等施設整備費 (私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費)) 及び私立大学等教育研究設備整備費等補助金 (私立大学等研究設備等

整備費) に係る交付内定前の事前着手承認申請書の提出について

2014年3月5日 (第12回)

議 題

- 1 第10回 ITセンター委員会 (2/21持ち回り開催) 事項について
- 2 第11回 ITセンター委員会 (2/24持ち回り開催) 事項について

ITセンター運営委員会

(平成25年度は開催せず)

ITセンター所員会議

2013年4月17日 (第1回)

議 題

- 1 ITセンター所員会議の構成について
- 2 平成24年度教育研究用システム利用統計について
- 3 平成25年度新規事業について
- 4 学生アンケートについて
- 5 KU Wi-Fi用 MAC アドレス登録システムについて
- 6 その他

2013年5月15日 (第2回)

議 題

- 1 学生アンケートについて
- 2 情報セキュリティインシデントシートの運用について
- 3 サテライトステーショングループ学習コーナーについて
- 4 メールインシデントについて
- 5 その他

2013年6月19日 (第3回)

議 題

- 1 学生アンケートの実施について

- 2 次年度予算項目について
- 3 一時公開無線ネットワーク利用サービスについて
- 4 サテライトステーションリプレース案について
- 5 その他

2013年7月17日（第4回）

議 題

- 1 学生アンケート実施報告
- 2 次年度予算項目について
- 3 情報システム利活用シートについて
- 4 ソーシャルネットワークガイドラインについて
- 5 その他

2013年9月18日（第5回）

議 題

- 1 学生アンケートまとめについて
- 2 セキュリティポリシー実施規程について
- 3 その他

2013年10月16日（第6回）

議 題

- 1 ITセンター所員会議の位置づけについて
- 2 ITセンター所員会議の検討課題について
- 3 IT政策専門部会の活動報告について
- 4 メールシステムのメーカー用サービスについて
- 5 その他

2013年11月20日（第7回）

議 題

- 1 平成25年度事業進捗報告
- 2 セキュリティポリシー実施規程について

- 3 ITセンター意思決定プロセスについて
- 4 全学メールのSSL対応について
- 5 ITセンターホームページの改修について
- 6 その他

2013年12月18日（第8回）

議 題

- 1 セキュリティポリシー実施規程について
- 2 所員会議の検討課題について
- 3 平成26年度予算折衝について
- 4 ITセンターのサービス検討について
- 5 その他

2014年1月29日（第9回）

議 題

- 1 セキュリティポリシー実施規程について
- 2 所員会議での検討課題について
- 3 サテライトステーションの運用について
- 4 関西大学 SNS 利用状況について
- 5 その他

2013年3月19日（第10回）

議 題

- 1 所員会議での検討課題について
- 2 ダウンロードステーションの運用について
- 3 授業支援システムサービス終了に伴う CEAS への移行について
- 4 その他

ITセンター自己点検・評価委員会

（平成25年度は開催せず）

活 動 報 告

今年度の活動について、まず情報通信基盤の整備関連では、平成24年度から3カ年計画で取り組んできた「教育・研究ネットワークの高速化」の第3期の整備（第1学舎、岩崎記念館、以文館）の実施と、MACアドレス登録システムの整備を同時期に行い、パソコンのMACアドレスを登録すれば、認証なしでネットワークが利用できるような利便性を向上した。また、「無線LAN環境の充実」についても、3カ年計画の第2期（第1学舎、以文館、総合研究棟、凱風館、誠之館）を実施し、新たに300箇所のアクセスポイントを追加した。クラウド・システムの取り組みについては、事務用メールサーバを学外データセンター内のプライベート・クラウド上に構築し、安定したサービスの提供が可能となった。さらに、サーバインフラの拡充として、先進性のある仮想化サーバを用いたプラットフォームを構築し、関西大学 Web サーバや学認サービス用サーバ等に移行し、物理サーバを集約することにより消費電力の省力化やスペース効率の向上に取り組んだ。

e-Learning の教材開発支援においては、講義収録・配信システムの増強として、4教室（第2学舎2号館 C505R、C506R、第3学舎 D501R、以文館 B1 講義室）に講義収録用機器を整備した。さらに、講演会やセミナー等を動画配信するために、可搬型講義収録システムも増設した。また、コンテンツ作成環境の充実を図り、模擬講義やビジネス英語教材など294のコンテンツを iTunes U で新たに公開した。

CEAS/Sakai システムについては、Web サーバ・DB サーバのハードを最新機種に入れ替え、利用環境の改善を行った。

システム開発および運用では、スマートフォン・タブレット端末向けに現状のインフォメーションシステムと連動するモバイルポータルシステムを構築し、端末アプリ「モバイル関大」の配布を開始した。なお、この開発にあたっては、新たな試みとして設計段階から学生を参画させ、利用者ニーズに即したサービスを実現すべく取り組みを進めた。

また、既存のシステムについても、組織・規程改編、学則変更など環境変化への対応や、学内各部署のからの要望を検討し、重要度や必要性などを勘案し、改善及び拡張を行った。

IT センターでは、高度情報化社会という時代背景の下、①教育・研究環境やネットワークなどの IT 情報基盤の整備・充実、②教育支援にかかるシステム開発（eポートフォリオなど）の促進、③携帯情報端末やデータ分析ツールなどを活用した次世代情報システムへの展開などを中期的政策の柱として取り組み、サービス向上に向け着実な活動を続けていきたいと考えている。

1 教育・研究支援

- オープン PC 1 コーナー、オープン PC 3 コーナー、第1ステーション、第2ステーション、

第3ステーション、第4ステーション、サテライトステーション、尚文館PC教室・研究スペース、岩崎記念館CALL1教室・CALL2教室のPCを全面リプレースし、より使いやすい環境を整備した。サテライトステーションにおいては2室のうち1室をグループ学習対応教室とし、さまざまなニーズに対応できるようにした。

- オンデマンド印刷システムのサーバおよび複合機（プリンタ）を全面リプレースした。また第1ステーションと第2ステーションにオンデマンド印刷システムを新規導入した。
- PC教室空席表示システムを全面改修した。

2 ネットワーク整備

- 千里山キャンパスの第1舎（法学部、文学部、政策創造学部、外国語学部）、岩崎記念館、児島惟謙館、以文館の教育・研究ネットワークをギガビット化し、より高速な通信インフラを整備した。
- 従来グローバルIPアドレスで管理・運用してきた第1学舎の教育・研究ネットワークをMACアドレスでの認証・管理方式へと変更し、ユーザーの利便性を高めた。
- 無線LANのAP（Access Point）を前年度に続き314AP追加設置。新しい無線LANサービス「KU Wi-Fi」を開始した。
- 事務メールサーバをデータセンターに整備し、24時間365日対応した。
- 関西大学のWebサーバを仮想化システムに全面更新した。

3 マルチメディアコンテンツ

【e-Learning】

- 模擬講義やビジネス英語教材など294のコンテンツをiTunes Uで新たに公開した。
- 講義の他、講演会、セミナー等を動画配信するために可搬型講義収録システムを増設した。
- 学部、大学院の講義収録の要望に応えるため4教室（第2学舎C505・C506教室、第3学舎D501教室、以文館B1講義室）に常設の自動講義収録システムを設置した。
- CEAS/SakaiシステムのWebサーバ・DBサーバのハードを最新機種に入れ替え、利用環境の改善を行った。
- CEAS/Sakaiシステムの利用者環境検証機材の整備し、OSやブラウザ環境の違いによる動作の検証を行い利用者への対応を向上させた。

【マルチメディア】

- コンテンツ制作環境を整備・充実させた。
（機材）液晶ペンタブレット、HDVカムコーダ、デジタル一眼レフカメラ他
（ソフト）Final Cut Pro X、Creative Suite 6他
- 学内から依頼を受けたシンポジウムやガイダンス、セミナー、公開講座を収録・編集し、ストーリーミング配信を行った。

- 機器の状態や通信ステータスの状態を監視し、円滑なビデオ会議をサポートするテレビ会議集中コントロールシステムを構築した。

4 広報

- 学生、教員それぞれが必要とする情報に迅速にアクセスできるように IT センターホームページの改修をおこなった。

5 開発

【モバイルポータルシステム『モバイル関大』】

- インフォメーションシステム利用の形態において、パソコンよりもスマートフォンからのアクセスが増えてきた状況を踏まえ、スマートフォンのアプリを開発した。インフォメーションシステムの個人伝言やお知らせ、履修科目情報、カレンダー（時間割）の情報を提供する他、スマートフォンの特性を活かして学内施設へ誘導するマップ機能等を提供している。

【財務システム】

- 専任教員が研究費等の予算額、執行額、予算残高を紹介することができる研究費等照会システムを構築した。

【点検・評価活動支援システム】

- 企画管理課にて内部質保証システム（PDCA サイクル）強化のための一手法である大学 IR の推進のため、『学の実化』データブックを電子化した。平成26年5月から運用される。

【初中高ポートフォリオ保護者公開】

- ミューズ初中高で運用中のポートフォリオ（OSL）の成果物を保護者が閲覧できるサービスを開始した。

【奨学金システム（国際部版）】

- 留学生の奨学金出願、選考、管理までを行うことができるシステムを構築し、運用を開始した。

6 システム運用

【学事システム】

- データ連携構造の整理、システム運用・教務センター職員機能など運用・管理系を中心とした機能強化、改善を実施した。
- 学生の成績分布状況について、経年推移や属性毎の特性を分析する等に活用された。

【学生カルテシステム】

- ユーザーインターフェースの改良と各部署の運用変更への対応を実施した。

【出席管理システム】

- サーバ老朽化対策として、仮想サーバへ移行を実施すると同時に、新たに DB サーバを設けることで自宅からアクセスできるように改善したほか、ユーザーインターフェースの改良等を実施した。

【スタディー・アブロード・プログラム支援システム】

- 仮想サーバへの移行を行い、インフラ基盤の強化を図った。また、管理情報の拡充（既往症情報、連絡先情報登録時のチェック機能強化等）を実施した。

【学校インターンシップ管理システム】

- インターンシップ先学校情報の拡充、登録画面の改良を実施。データ取込機能に関するマニュアルの整備、利用者への運用支援を行った。

【健康管理】

- 問診入力画面を改良し、コメント欄分類拡張による管理機能の充実を実施した。

【心理相談システム】

- 学事統計カウント方式の変更や、コンサルテーション情報入力機能の追加対応を行った。

【クラブ管理システム】

- Web 申請（入部登録）機能の拡充、管理系帳票の改良、Web 申請（事業届登録）機能の設計、開発を実施した。

【出勤簿管理システム】

- 勤務スケジュール応募機能等の追加とユーザーインターフェースの改良を実施した。アルバイト管理部署からの要望で端末の増設を実施した。

【初中高教務システム】（ミューズキャンパス・北陽キャンパス）

- 各種帳票機能・連携機能の充実とユーザーインターフェースの改良を実施した。

【初中高ポートフォリオシステム】

- コアシステム（OSL）を最新バージョンの 3.2.1 にバージョンアップした。

【保護者ポータル】

- インフォメーションシステム「保護者ポータル」において、関西大学初等部、中等部、高等部の保護者を対象にサービスを開始した。

【その他】

- 履修ガイダンスや事務業務用 Web サーバについて、ハードウェアの老朽化に伴い、仮想化サーバへ移行・構築した。また、「CAP システム」、「心理相談システム」他各システムで機能拡張、改善を実施した。

センター利用状況

(2013.4.1~2014.3.31)

1 教育・研究システム申請状況

(1) IT センター利用申請数

ア 研究用 login サーバ利用

学部・研究科	法	文	経	商	社	政	外	人	総	社	シ	環	化	工	心	法	会	臨	国	東	合	
	法	文	済	会	策	語	間	合	会	ス	境	学	学	学	学	計	床	際	ア	計		
					創		健	情	安	理	都	生	理	理	大	専	心	部	シ	ア	計	
					造		康	報	全	工	市	命	科	院	門	理	部	部	シ	ア	計	
専任教育職員	49	112	55	57	63	26	46	28	60	22	102	61	65	0	—	26	11	9	4	0	796	
特任教育職員 特別契約職員	7	19	8	3	4	4	3	0	4	2	10	4	10	1	—	5	4	1	1	0	90	
客員教授等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	3	3	
大学院生	84	383	62	81	128	16	150	—	93	22	—	—	—	770	71	234	91	66	—	72	2,323	

その他：研究員、非常勤職員など (564)

イ 電子メール・学外 Web 利用

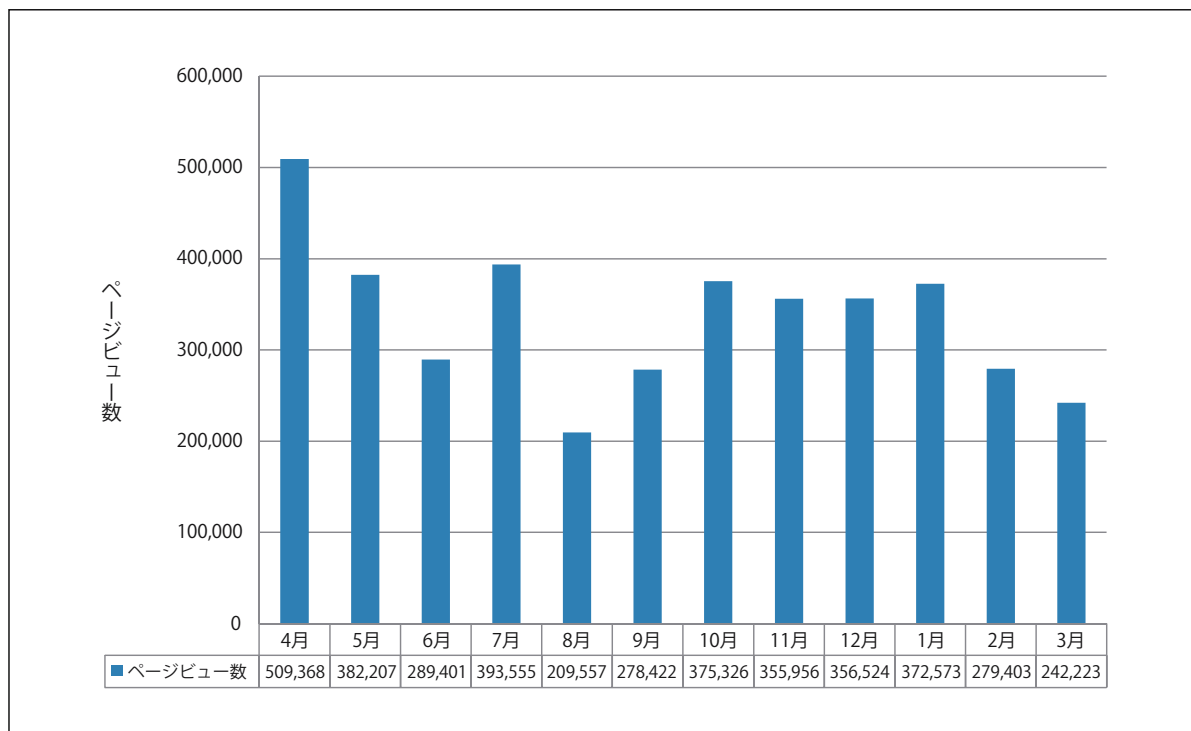
学部・研究科	法	文	経	商	社	政	外	人	総	社	シ	環	化	工	心	法	会	臨	国	東	留	合
	法	文	済	会	策	語	間	合	会	ス	境	学	学	学	学	計	床	際	ア	留	計	
					創		健	情	安	理	都	生	理	理	大	専	心	部	部	シ	留	計
					造		康	報	全	工	市	命	科	院	門	理	部	部	部	留	留	計
専任教育職員	49	112	55	57	62	26	46	28	60	22	101	61	65	0	—	26	11	9	4	0	0	794
特任教育職員 特別契約職員	7	19	8	3	4	4	3	0	4	2	10	4	10	1	—	5	4	1	1	0	0	90
客員教授等	0	0	1	2	1	0	1	0	1	1	0	0	0	12	—	3	1	0	0	3	0	26
大学院生	104	505	71	89	134	24	164	—	128	29	—	—	—	1,569	70	259	134	102	—	78	—	3,460
学部生	3,084	7,270	3,306	3,221	3,579	1,622	767	1,397	1,907	1,088	2,168	1,466	1,347	194	—	—	—	—	—	—	147	32,563

その他：研究員、非常勤講師、特任外国語講師など (1,925)

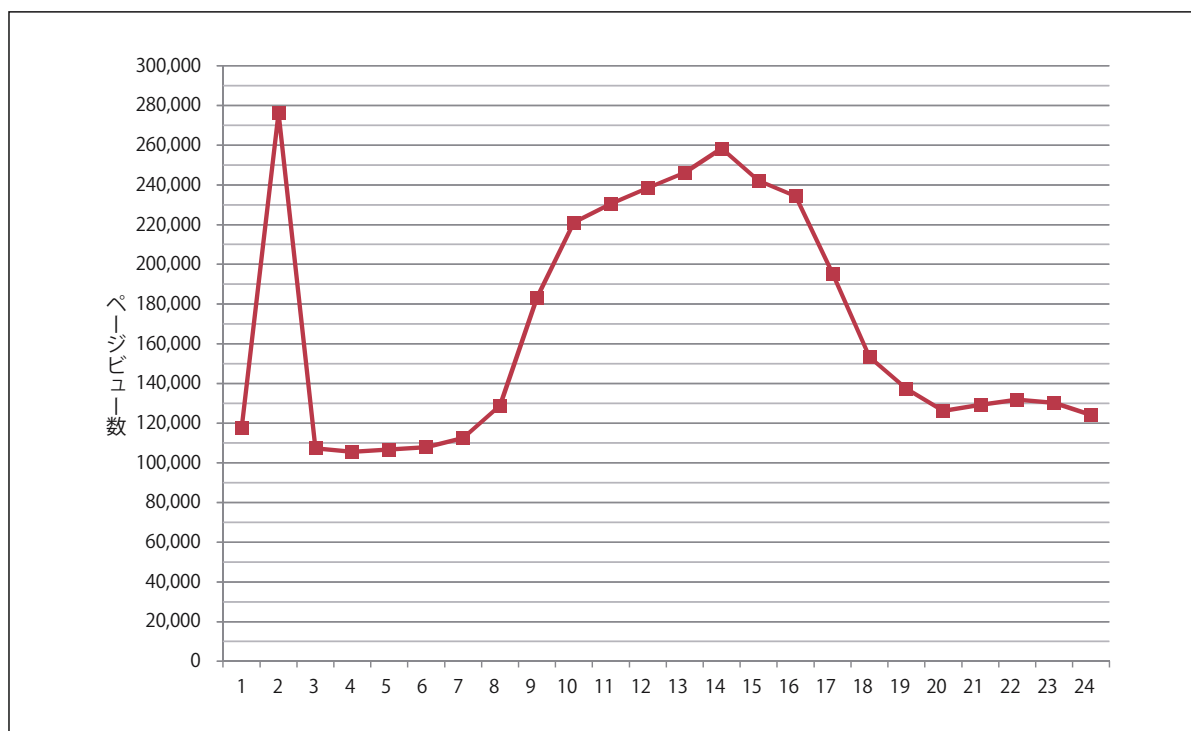
2 教育・研究システム利用状況

(1) ITセンターホームページ利用

ア 月別 ページビュー数

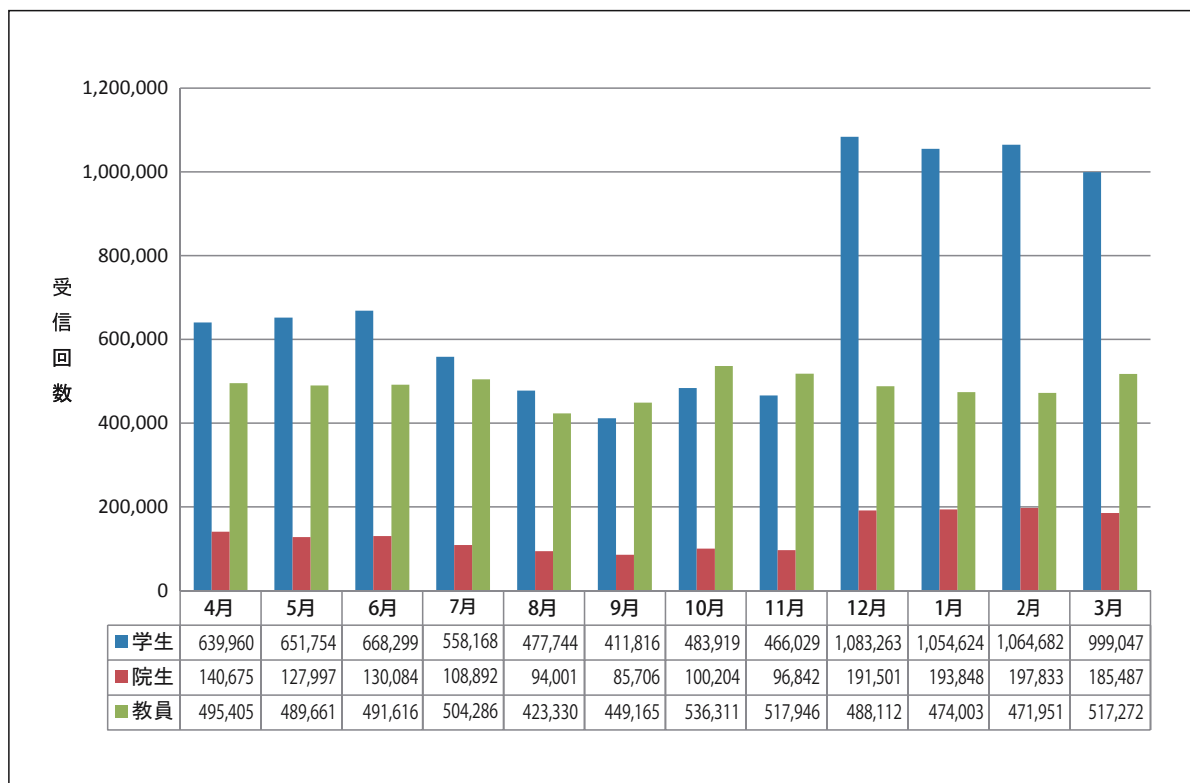


イ 時間別 ページビュー数

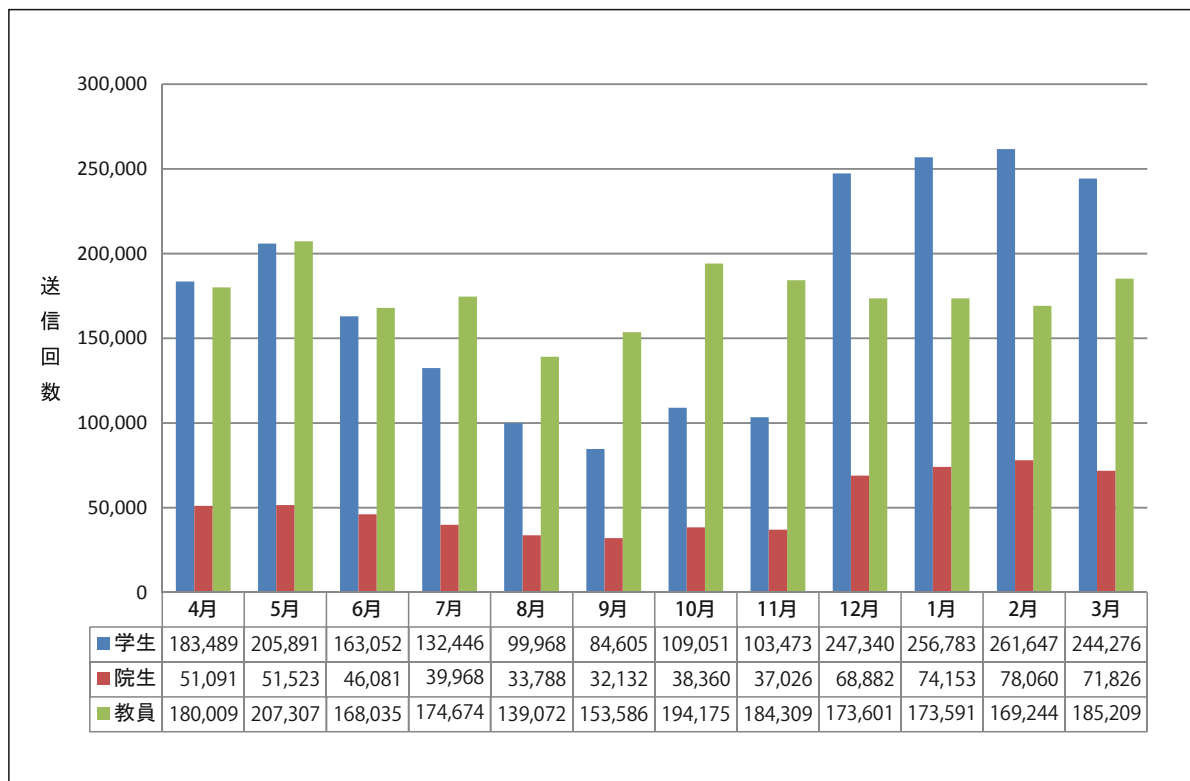


(2) 電子メール (Active!mail) 利用

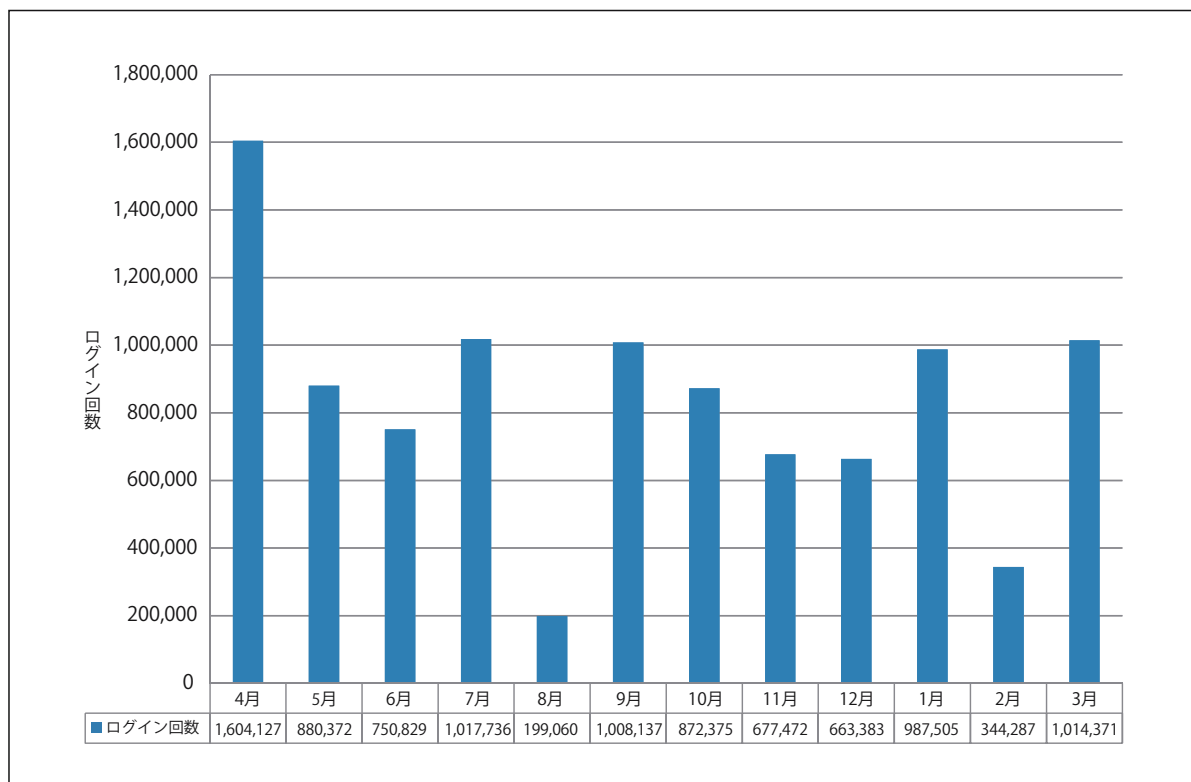
ア 受信回数



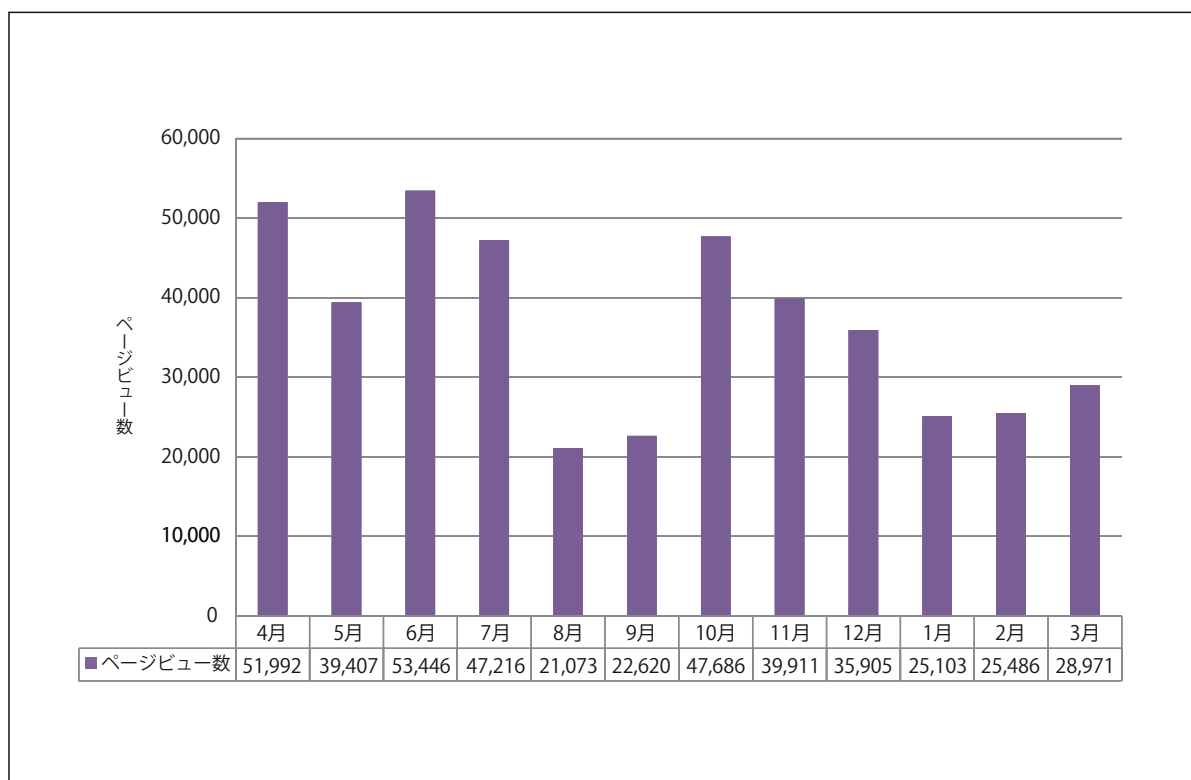
イ 送信回数



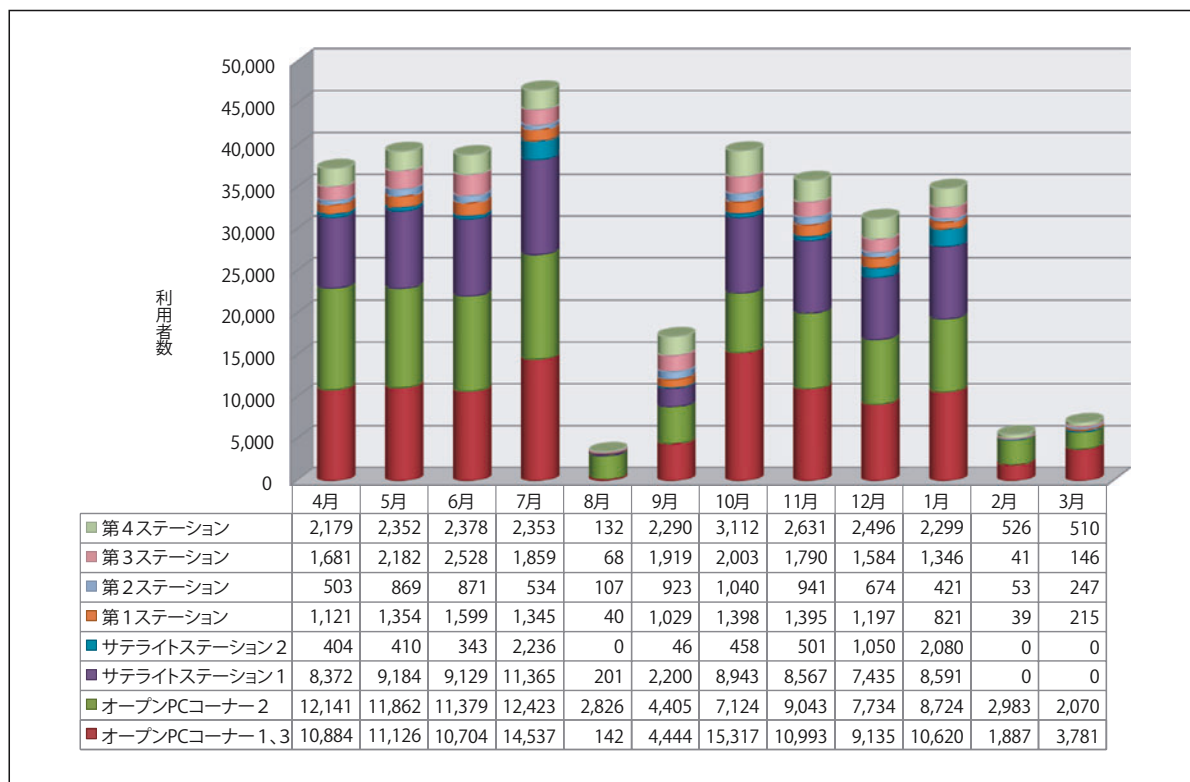
(3) インフォメーションシステム トップページ（ポータルシステム）利用



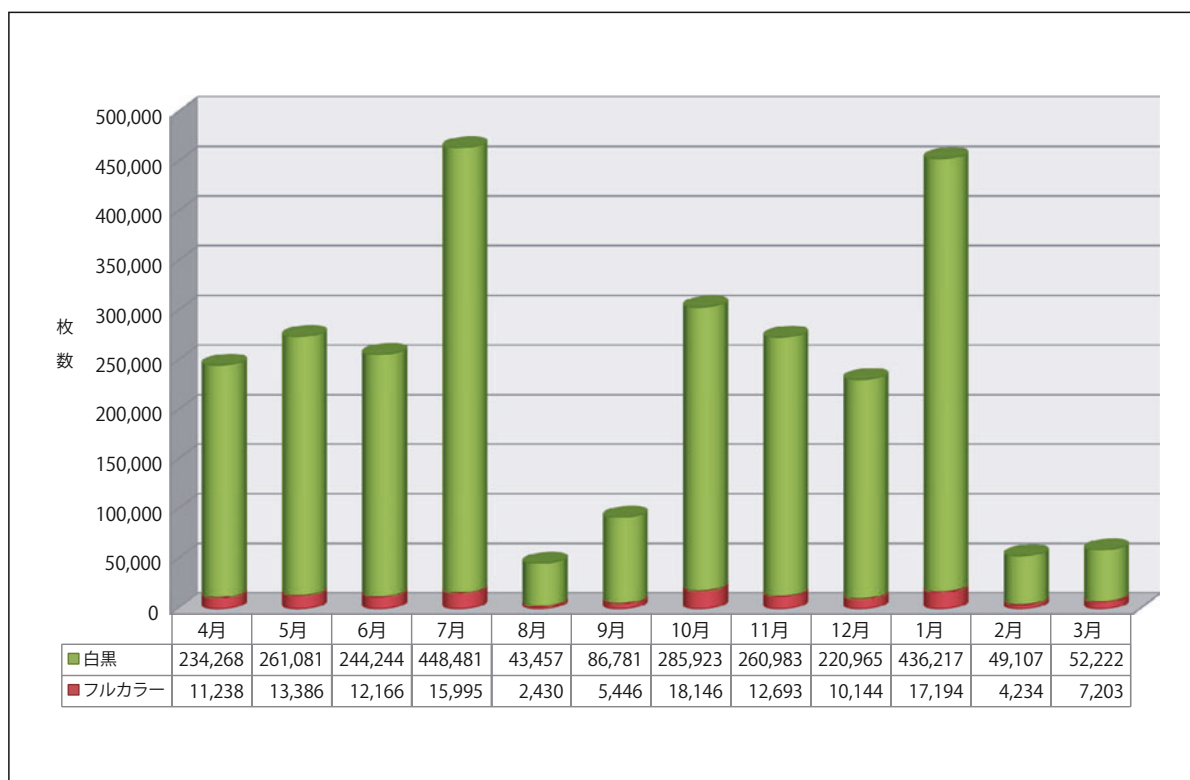
(4) SNS 利用



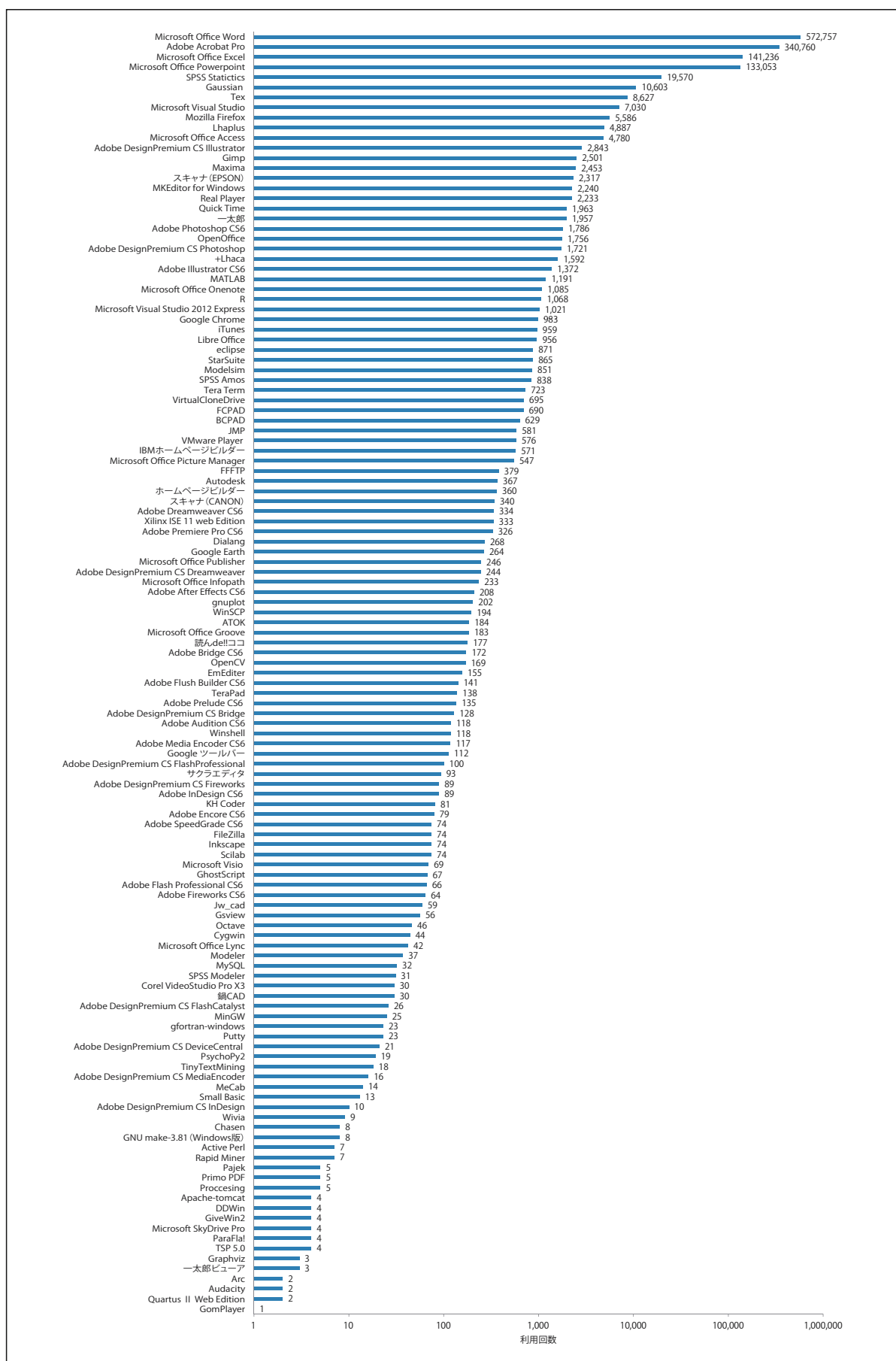
(5) パソコン利用



(6) オンデマンドプリント利用



(7) アプリケーション別 利用回数 (2012. 4. 1~2013. 3. 31)



講 習 会

IT センターでは、学部生、院生、教育職員、事務職員を対象に各種講習会を開催している。2013年4月～2014年3月の開講実績は次のとおりである。

1 Office 製品を中心とした講習会

Word¹⁾、Excel²⁾、PowerPoint³⁾、メールマナーなどに関連する講習会を以下のように開催した。

対 象	開催期間	実施回数	参加延人数
学 生	2013/5/9～5/29	26	273
	2013/10/9～10/30	25	311
	2014/2/12～2/28	30	519
教育職員 ⁴⁾	2013/9/3～9/6	8	2
	2014/3/7～3/14	11	52
事務職員 ⁴⁾	2013/9/3～9/6	8	35
	2014/3/7～3/14	11	61

¹⁾Word 2010 (初級、実用ヒント、長文作成)

²⁾Excel 2010 (初級、実用ヒント、関数入門、関数活用、集計・分析)

³⁾PowerPoint 2010 (初級、実用ヒント、ポスター作成)

⁴⁾教育職員と事務職員は同時開催

2 Adobe 講習会

Photoshop、Illustrator、Dreamweaver、Flash の講習会を以下のように開催した。

対 象	開催期間	実施回数	参加延人数
学 生	2013/9/10～9/18	12	97
教育職員			2

3 インターネットセキュリティ講習会

インターネットセキュリティに関する講習会を以下のように開催した。

対 象	開催期間	実施回数	参加延人数
学 生	2013/12/20	2	4
教育職員			0
事務職員			30